

教習項目

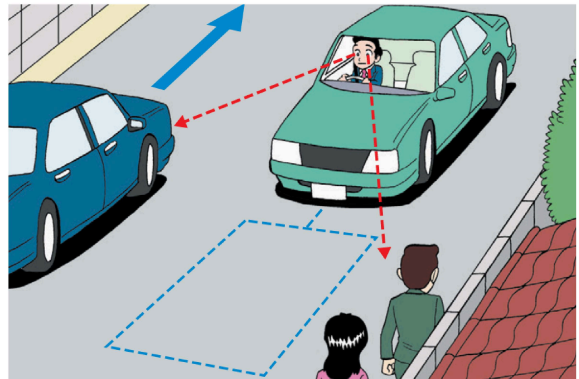
12

## 行き違い



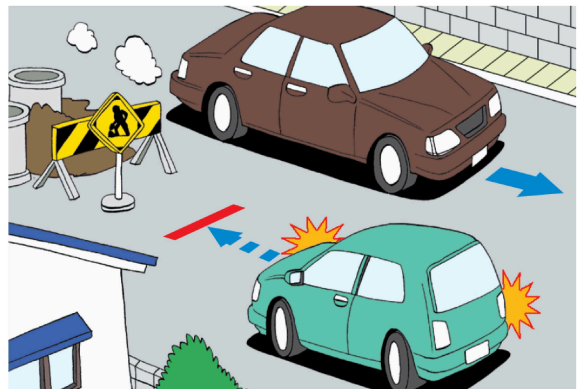
## ① 側方間隔の保持

対向車と行き違うときは、安全な間隔を保つように  
しましょう。



## ② 障害物があるときの避譲

進路の前方に障害物があるときは、あらかじめ一時  
停止か減速をして、反対方向からの車に道を譲りま  
しょう。



## セーフティエチケット

## 夜間の行き違い

夜間の運転は、前方が見にくいので前照灯を上向きにしたほうが見やすくなります。

しかし、前照灯の光が目に入ったり、バックミラーに映ったりすると、まぶしさで一瞬視力を失った状態になってしまいます。対向車がいる場合、前車に追従する場合等は、相手に対する思いやりを持ち、前照灯を下向きにしましょう。

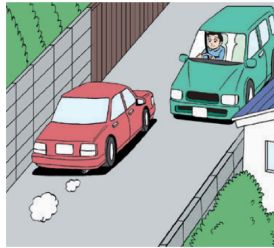


# Research

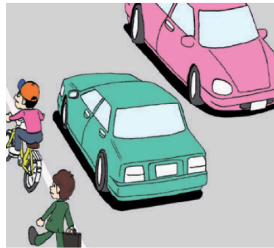
より深く…

## 「行き違いでの注意」

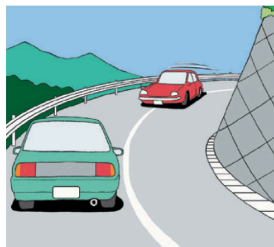
行き違いで、進むか止まるか迷ったら、一時停止をしましょう。一時停止をするときは、急ブレーキにならないように注意しましょう。



歩行者や自転車を追い越しながらの対向車との行き違いも、安全な間隔を保たなければなりません。

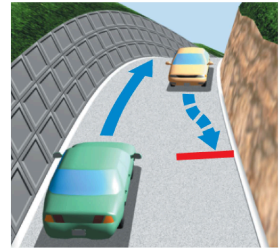


見通しの悪いカーブでの行き違いは、自車も対向車も車線をはみ出しやすいので注意しましょう。

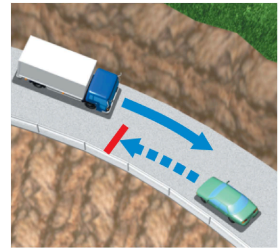


## 「坂道での行き違い」

坂道では、上り坂での発進がむずかしいため、下りの車が、上りの車に道を譲りましょう。しかし、近くに待避所があるときは、上りの車でも、その待避所に入って待ちましょう。



片側が転落のおそれのあるがけになっている道路で、安全な行き違いができないときは、がけ側の車は一時停止して道を譲りましょう。



# セーフティエチケット

## 譲り合う気持ち

自分の進路の前方が、工事中であったり、駐停車中の車があるため道幅が狭く、すれ違えないときや、冬で積雪のため通行しにくいときなどは、自分から譲り合いの気持ちを持つようにしましょう。

急いでいるから先に行こうと思っても、対向車も同じように進行してくれば、どちらも立ち往生になり、結局は時間がかかってしまいます。

どのような場面でも、自分から譲る気持ちが大切です。



## ためしてみよう! ○×問題

正しいと判断したときは○の欄、まちがっている  
と判断したときは×の欄に✓印をつけてください。

- 問1 進路の前方に障害物があるときは、あらかじめ一時停止か減速をして反対方向からの車に道をゆずる。
- 問2 坂道ですれ違うときは、上り坂の発進が難しいので、下りの車が上りの車に道をゆずるとよい。
- 問3 進路の前方に障害物があるときは、どのような場合でもすばやく加速して対向車よりも先に通過するほうがよい。

○	×

--	--

--	--

▶解答と解説は、129 ページにあります。◀